令和7年度　駿河台こども園 教育活動等に対する学校評価

R8年2月26日

1　こども園教育目標　・・・　明るく素直な子

2　本年度の重点目標　・・・　笑顔あふれる安心の基地

思いやりのある子
進んで遊ぶ子
考えて遊ぶ子

※評価点　4（十分に成果があった、十分にできた）3（成果があった、できた）2（少し成果があった、すこしできた）1（成果がなかった、できなかった）

（No．1）

評価対象	評価項目	自己評価 R5	R6	R7	振り返りと改善策	学校関係者評価委員 御意見
1 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.16	3.2	3.2	・職員会議等の資料で理解できるよう努めた。 ・教育目標「明るく素直な子」仲良く遊ぶ子、思い切り遊ぶ子、考えて遊ぶ子という事を意識して子どもと一緒に楽しむようにしている。 ・理解に努めている。 ・自分自身も明るく素直であるように日々頭に入れている。 ・引き続き、理解に努めていきたい	・自己評価からも、先生方が同じ方向に向かって教育活動に取り組んでいらっしゃることが伺えます。 ・駿河台こども園さんとは無理のない形で様々な交流ができ、子どもにとって小学校への円滑な移行につながっていると思います。いつもありがとうございます。 ・①②項で引き続き理解に努めていきたいと振り返りをしているのに、具体策がないのは残念です。 ・⑥項で、小学校・中学校との連携（架け橋カリキュラム）が功を奏して意識価値も格段と上がり、良かったと思います。 ・評価項目のほとんどで、評価が上昇している点が素晴らしいと思います。特に「10の姿」の理解や小学校との架け橋カリキュラムが昨年度よりさらに充実している点が注目され評価できます。 ・いつも季節の行事、製作、給食などで季節を感じさせてくれてありがとうございます！家ではなかなかできないことも経験させてもらえてありがたいです！ ・ウォークラリーや運動会以外でも小学校に見学に行く機会があってもいいと思いました。お弁当の日に小学校の給食を少し見学しながら、校庭や空いている教室でお弁当を食べるとか…？小３兄の給食の話を聞いて、次男はちょっとドキドキしているみたい。こんな感じか―が分かると安心して入学できると思いました。 ・以前と比べ、地域の小中学校との交流の機会が大幅に増えたと感じています。その流れを作ってくださった先生方のご努力に感謝します。小学生や中学生にとっても良いことであり、相乗効果が期待できます。
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3.11	3.1	3.2	・理解に努めている。 ・今年はあまり努めることができなかった。 ・保育要領読まなくてはと思うがなかなか読めない。 ・幼稚園と保育園のいいところをもち、0歳～5歳までの子どもたちがのびのびと健やかに生活をしている。 ・10の姿や要領に沿った活動内容となっている。・理解できるように務める。 ・引き続き、理解に努めていきたい	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3.22	3.3	3.3	年間計画は毎年見直し、より良いものになるよう努めている。 ・子どもの安心の基地となるよう、念頭に入れ計画をたてることができた。 ・毎月の月案を考える際に、歳児毎の帯を基に考えている。初めての歳児ではあったが、組んでいる先生や講師の先生と一緒に考え計画を立てることができたと思う。 ・明るく素直な子を大切に保育できるように立てるように心掛けてきた。	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.42	3.5	3.4	・指導計画は立てないが発達段階をしっかり見極められるように努力していく。 ・計画されたものをしっかり確認し、先生方と足並みを揃えて保育できるように努めています。 ・園の指導計画をもとに、今年の子どもに合った指導計画を立てることができたように思う。 ・年齢や月齢に合わせ計画をしている。 ・子どもと関わりを持つ時には担任などに確認する。	
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切にして環境構成を工夫している	3.35	3.1	3.4	・子どもの気持ちを一番に考えるようにしている。 ・発達段階に合わせ、段階的に環境を変えて保育してきた。 ・大切にしているが余裕がないと、寄り添えないことがある。 ・季節感を大切に子どもたちといっしょに壁面装飾や遊びを考えている ・子どもの様子を見ながら環境構成をしている。月齢にも合わせ行っている。 ・子どもたちのできる範囲で無理ないよう、生活している。	
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携・接続(架け橋カリキュラム等)を意識している	3	2.9	3.7	・年長児に小学校を意識した保健指導を取り入れた。 ・小学校、中学校との研修や交流が増えて良いと思う。 ・保育にいかしきれていないので今後もっと意識していきたいです。 ・確認しながら月案を立てている。 ・10の姿を意識しながら、子どもに合わせ保育をしている。 ・小学校の様子をもっと伺い知れる機会があるとよいと思います。	
2 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切にし、こどもの体調が悪くないか確かめている	3.7	3.6	3.8	・すくすく部では毎日の検温や爪の確認などどの先生達も行えていると思います。 ・子どもたちへの声掛けや関わりを大切にしている。 ・様子を見て、いつもと違っていたら検温している。 ・朝の視診も大切にし、子どもたちの1日の様子を見ながら過ごしている。 ・こどもだけでなく保護者の様子もよく確かめるのがよいと思います。	・いずれも高い評価で、「子どもだけでなく、保護者の様子もよく確かめる」とのコメントから、先生方の日々の努力がうかがわれます。 ・①項で、子どもだけでなく、保護者の様子もよく確かめることは、全体像（幅広い視野）を把握するのは大事だと思います。 ・②項で、個々のペースに合わせた指導は均一的な保育がされる中で、貴重な考え方で評価いたします。 ・⑦項で、不適切な保育事例等もヒヤリハットと同じように、共有化を図っていただきたい。 ・子育て（イヤイヤ期）で悩んでいたとき、担任の先生が話しかけてくださり、心が救われたことが何度もあります。ありがとうございます。 ・各クラスの様子とランドの様子の連携がとれているとより安心して預けることができます。 ・運動会や行事は時代に沿っただいぶ見直されているとお見受けします。ただ、先生のご意見にもあるように、もう少しゆとりを創出するための見直しが求められているかもしれません。
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.47	3.4	3.4	・コミュニケーションをたくさんできた。 ・泣いたり怒ったりしていても落ち着くまで待ち、子どもの気持ちを聞いて対応している。時間が掛かる事もあるが他の職員と連携してその子に関わるようにしている。 ・個々のペースに合わせて援助をしている。 ・一人ひとりの気持ちを考え接しています。 ・思いを大切にしながら、職員同士話し共通理解をしながら支援ができるようにしている。	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	3.22	3.2	3.3	・乳児はまだ自分で遊びを見つけて遊ぶ事が難しい子もいるので、その子が興味がもてるように一緒に関わると遊びに集中できる事も多いので、遊びこめるようなきっかけをつくれるように関わっている。 ・戸外へ行ける時間をなるべく作り、思い切り遊べる時間を作るようにしている。 ・子どもたちが自由に好きな遊びができるように環境を作るように心掛けている。	
	④行事や活動を通して、こども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.37	3.3	3.4	・戸外遊びの時、乳児がいる所へ幼児が来たら声を掛ける事で乳児と関わりを持とうとしてくれるので声を掛けるようにしている。 ・余韻遊びでは、異年齢での関わりを楽しめていた。 ・運動会と発表会の間が短かったり、発表会後も行事や予定が多く、中々ゆとりを持っての余韻遊びができなかった。詰め込み過ぎないような予定を立てたい。 ・すくすくとわくわくの交流が少ないように思います。	

2保育の在り方・子どもへの対応	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3.13	3.1	3.3	・職員会議の内容等もエルガナで配信していただいているのでクラスの事や園児のことも理解しやすいです。 ・昨年より先生方たちと声を掛け合うことができました。エルガナを活用して共通理解に努めています。 ・エルガナを通じて全体のことがわかるように配慮してくださり、わかりやすく有難いです。 ・職員会議の時などで共有し合っているが、全園児の理解は正直できていないと思う。	
	⑥支援の必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	3.0	3.1	3.3	・職員会議で研修として取り上げる機会ができ良かった。 ・職員会議でケース会議を行い、みんなで意見を出し合っている。 ・担当する学年の園児については年児会等でじっくり話す機会があるが、他学年の園児は職員会を通じて簡単に教えてもらっている。こども達も成長しているので、対処の仕方が変わってきていると思うので、教えてもらうと助かる。先日のランド会議で教えてもらえたのは大変ありがたかった。	
	⑦不適切な保育とならないように、定期的にチェックや話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている	3.2	3.2	3.2	・定期的にチェックや話し合いはほぼしていないが、子どもに笑顔で接するように心掛けたり、触れる時にも引っ張ったりしないように充分に気を付けている。 ・ぽっかぽかの資料で振り返ることができている。 ・「こうしたら不適切だよね？」など職員同士で話をしたり、お互いにチェックできていたように思う。 ・食事中や仕事終わりに相談し、対応策を話し合っている。 ・乳児会議などでも話題にし、日々の保育の振り返りを行う	
3教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3	3.1	3.1	・意識しているが、なかなか難しいと感じる。 ・話す力は足りてないが、聞く事は意識している。 ・子どもの話を丁寧にゆっくり聞けるように心掛けている。 ・人間関係が上手くいくように意識しながら会話をするようにしている。 ・子どもの発言を頭ごなしに否定せず、まず「どうしたの？」から入り、共感する心を忘れないようにする。子どもと接することを楽しいことと捉える心がけをしている。	・評価やコメントから、子どもへの深い配慮が感じられます。ただ、先生方が非常に多忙な様子がうかがえますので、オンとオフの切り替えをしていただき、楽しくお仕事をして頂きたいと思います。 ・①項で、何をもって話す力や聞く力が向上したのか、判定が難しい。数値化したものがないと納得感がないのでは。 ・④⑤⑥項で、わくわくとすくすくの関係がわからない中で、先生のリバース（一時的な）が出来るなら、相互理解をする上でも価値があると思います。幼児期のお子さんは先生の一挙手一投足に注視しているので、豊かな自然や接する喜びを与えて欲しい。 ・先生に負担がかからないことは子どもたちを大切にすることにもつながるので、できるだけ先生が心身共に元気でいられる環境だとうれしいです。 ・⑥について ある園のお散歩で、子どもが「これ何の花？」と先生に訊き、「なんだろうね」と先生が返す様子を見かけました。何気ない日常ですが、こうした場面は少なくないと思います。 ここで「〇〇だよ」と具体的に伝えることができたら、幼児にとって大きな可能性の種をまくことになります。先生方は日々お忙しいと思いますが、ぜひ⑥について大切に受けとっていただきたいです。人員と時間の「ゆとり」が必要なのかもしれませんね。
	②こどもや、保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	3.5	3.5	3.5	・子どもや保護者に対して平等な声掛けや対応をするように心掛けている。 ・自分では公平さは大切にし、子どもや保護者に個別の対応をしてきた。はたから見れば、平等さには欠けていたのかも… ・どの保護者、園児にも平等に関われるように意識している。 ・平等に接すること、対応するように心掛けているが、難しいこともあるため、その際には反省をし、今後気をつけるようにしている。	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.63	3.6	3.7	・手洗い、うがい、マスク等は意識して、している。爪も土曜日に切るように習慣づいている。常に爪が伸びていないか確認をしている。 ・自分の手洗いうがいの徹底や清潔を保つこと、保育室の消毒等気をつけてきた。 ・行事中は、退勤時間遅くなったり持ち帰りがあり夜遅くまで仕事をし体が休まらなかった。 ・心身共に元気でいられるように心掛けている。	
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.2	3.2	3.3	・すくすくの職員とはコミュニケーションが取れているが、わくわくの職員とは取りにくい。園庭等でこちらから声を掛けるように努力していく。 ・相性もあるのでコミュニケーションを取ろうとしても難しい場合もある。諦めている。 ・どの職員とも話をするようにしているが、うまくコミュニケーションが取れていない職員もいるのかなと思う。 ・なるべく片寄らないよう気を付けてはきた。	
	⑤こどものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.8	3.9	3.7	・ふとした時に子どもの成長にきづき、驚かれる事が多い。それが保育する上で喜びでありやりがいでもある。 ・成長を見ると保育士になって良かったなと感じることができる。 ・職員同士話をする中で喜んだり、子どもができるようになった成長を見ることができたときには子どもにも声をかけている。 ・日々の出来事を組んでいる先生や講師の先生と話し、共有し合っている。	
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.1	2.9	3.1	・なかなかテレビを見る時間もなく、余裕が無かった。 ・季節感やニュースも話題にし子どもたちと盛り上がることもある ・散歩中に咲いている花や車など知っているともっと良いなと思う。 ・子どもを取り巻く環境は日々変化していると感じる事が多い。いろいろな事にアンテナを向けていく。	
		56	56	57		

評価対象	評価項目	R5	R6	R7	自己評価	学校関係者評価委員 御　意　見
4 保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.5	3.4	3.6	・できる限り様子を伝えたり、自宅での様子を聞くようにしている。 ・子どもの様子を担任や遅番職員に伝え、保護者に伝わるようにしている。 ・父母だけでなく祖父母がかかわる家庭も多いので、共有できるように伝えられるとよいと思います。 ・なるべく直接対面で話ができるようにし、齟齬が生まれないように気をつけている	・保護者も多様化しているので、対応は難しいと思われますが、よく情報収集をされて、個別に対応している点は非常に評価できると思います。個人情報の管理にも気を配っている点が評価できます。 ・①③④項で、エルガナを通して全体のことが把握されていると保護者が評価されているので、これからも育てていただきたい。 ・（敬語について）フランクに話してもらえる方が保護者側も気軽に相談しやすくなるかも…節度は大切ですが。そこまで気にしなくてもいいかと思いました。 ・保護者アンケートを見ると、学年によって先生と保護者の関係性にばらつきがあるようですので、検証と改善策が必要ではないでしょうか。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.3	3.2	3.2	・丁寧に伝えてはいるが正しい日本語、敬語かというと自信がないので意識して伝えられるようにしていきたい。 ・保護者の気持ちも理解しつつ、共感したり相槌をうつようにしてきた。時々、敬語を忘れてしまうことがあった。 ・丁寧に話そうとして逆に正しくない日本語になってしまう。 ・頷いたり、返事をしながら話を聞いているが、正しい日本語でしっかり返せているかはわからない。	
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.9	3.8	3.9	・個人情報は大切にしている。 ・名前が書いてあるものがゴミ箱に入っているので、気を付けて捨てるようを付けていきたい。 ・園で管理するものはしっかり園で管理をしている。園で聞いた話もしないようにしている。 ・話さない。 ・注意している。 ・引き続き努めていく	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.6	3.6	3.7	・色々あったので、その都度上司に連絡、相談、報告をしてきた。上司も忙しい時でも、快く相談に応じてくれた。 ・わからないことや曖昧なことはすぐに返事をせず、一度報告、相談をするようにしている。 ・主幹への報告、相談を密にし、自己判断で行動しないように気をつけている。	
5 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.8	2.8	2.7	・案内となると難しいです。自分の中での理解を深められるよう努力したいです。 ・きちんとは答えられない気がする。 ・わかっていてもきちんと答える自信はない。答えられるようにしたい。 ・自分の言葉で説明できるようにする。	・先生方の多忙が懸念されますが、プライベートな時間も大切にしていただき、外部との関わりが可能となる時間が増えればと願います。 ・毎年、他の項目に対して1.0程度低いのは、地域代表として気になります。自治会としてお年寄りとの接点（折り紙、肩たたき）については応援いたします。 ・「だれ通」が始まるので、地域の拠点として期待しています。
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.7	2.6	2.6	・時代も変わってきたので、新しい情報を入れたいと思う。園として職員向けに地域の施設や機関、素材について紹介してくれるとありがたい。 ・今年年長さんが地域の高齢者の方とふれあう機会があってよかったです ・意識して理解できるようにしたい	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.7	2.6	2.6	・ちびっこ解放の際にも受付などできる事は関われた。 ・開放日に来た方へは明るく元気に挨拶をするようにしている。 ・子どもに最適な支援が受けられるように理解する。	
6 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.5	3.5	3.5	・今年はヒヤリハットがたくさんあった年だった。保育教諭同士で情報共有し、大きなケガにつながらないよう努力してきた。 ・すぐにヒヤリハットを載せようと思っても忘れてしまうことがあるので気を付けたい。 ・エルガナや職員会議の資料を確認しながら事故に繋がらないようにしている。クラスでも話をするようにしている。 ・どのような事が起こったのか知り、注意を怠らないようにする。	・昨今の防災意識が高まる中、よく情報収集され、対応が検討されていると思います。災害時の児童の安全管理については、個別課題が多いかと思いますので、個別対応を検討することで良いかと思います。いずれにしても保護者との連携が必要と思われますので、災害時の施設側の対応を伝えておくことが必要と思われます。 ・①項で、ヒヤリハット事例等は防災訓練同様、繰り返しの周知や意識の向上施策が必要です。 ・④項で、閉じ込め、置き去り、取り残しはヒューマンエラーによって発生いたします。人間の力で足りないところを機械（電子の目）を利用して防止していただきたい。 ・朝の徒歩通園、どれだけ人数が少なくても点呼とチェックを保護者の前でした方がいい。一度だけ点呼なく、子どもたちと歩きながらの先生がいて、他の保護者も「今日、名前を呼ばなかったね」と言っていた。お互いの信頼と安全のためにも、ここは徹底した方がいいと思います。 ・毎月のていねいな避難訓練は大変なことだと思いますが、続けてくださっていてありがたいです。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.4	3.6	3.3	・乳児でも分かりやすい言葉と行動で訓練を行うことができた。 ・保育の流れを気にしてしまうが、いつ起こるかわからないから、いろいろならパターンで訓練していきたい。 ・自然災害が増えているので、自然環境を意識した訓練が増えるとよいと思います。 ・毎月の安全点検、避難訓練を通して意識を高めている。また、毎月様々な訓練を行い火災、地震、不審者への避難対応を行い経験を積むことができている。	
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、こどもや家庭への啓発に努めている	3.5	3.5	3.4	・手洗い時には子どもの隣で歌いながら洗うようにしている。見て真似をしようとする姿も見られる。 ・感染症が出ているときはマスクをするなどして対策をしている。感染症や風邪などが流行っているときは保護者にも伝えるようにしている。 ・感染症に気をつけるために、消毒等や換気を行うようにし、保護者にも伝えるようにしている。	
	④閉じ込め・置き去り・取り残などないように状況に応じ、点呼や人数確認を確実に行っている	3.8	3.6	3.5	・人数確認を行い、声をかけ置き去りがないよう心がけている。 ・散歩にでる機会も多かったので、職員同士連携を図りながらやってきた。 ・一回ヒヤリハットがあったので、子どもと一緒に確認を行っている。 ・人数の把握を行うようにするとともに、保育者間でも声を掛け合うようにしている。 ・人数確認をこまめにしています。	

7 研修と研究	①遊びと生活の専門性（職務の専門性）を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	2.9	3.1	2.9	・研修まではいかないが、保育教諭同士で本を貸し借りしたり、わらべうたなど詳しい職員に教わったりして、努力してきた。 ・保育雑誌や保育の動画を見たり常に子どもの興味があるものを調べたりするようにしている ・学んだことを生かせるようにしている。また、研修内容を報告しあっている。 ・研修を受けたり、保育雑誌等を読み自分自身の専門性を見直しながら保育するように心掛けている。	・昨今、IT技術の進歩に目覚ましいものがあります。ドキュメンテーションの作成にもデジタルを取り入れるようになっていると伺い評価できます。積極的に取り入れて業務の効率化を図るのはとても良いと思います。個人情報保護に配慮して、エルガナを使用されている点に感銘を受けました。 ・③項で、同じクラスの職員、講師の先生とは相談し合えるが、他のクラストは難しい。これは３－③項でも同様な評価をされているので、同様な問題だと思っています。職員会議のテーマとして話し合う価値はあると思います。 ・先生方がどんなふうに学びを深めているのか、保育に向き合っているのかも知ることができるツール（インスタ？パステル？号外？）があったらより安心して預けられそうです。 ・新学期に先生の名前、顔（写真）、一言メッセージがあると、新しく預けるお母さんは喜ぶと思います。（顔と名前が一致しなくて子どもの話がわからない。どんな先生がいるのかなとわくわくします） ・ぜひリフレッシュすることを大切にしていただきたいです。そのことが巡り巡って子ども達へ還元されると思います。
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.2	3.1	3.1	・勤務体制の違いがあるため、毎日のどこかで保育の反省をするよう努めてきた。 ・毎日の日案での振り返りから、保育後に組んでいる先生と話し合ったりと、日々振り返り改善へと繋げている。 ・クラス間で話合う中で保育を反省し、今後に繋げるようにしている。 ・勤務体制の違いがあるため、毎日のどこかで保育の反省をするよう努めてきた。	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.1	3.2	3.2	・何かあれば直ぐに主幹と話をするようにしている。 ・同じクラスの職員、講師の先生方とは相談し合えるが、他クラスとは難しい。 ・何かあれば、同僚など相談することがあった。 ・個人の考えだけでなく、色々な先生の考えも教えてもらいながら、視野が狭くならないように気をつけている。 ・わからない事や質問にも丁寧に対応して頂き感謝している。 ・談しながらできた。	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	2.8	2.8	3.0	・読書は大切にしている。 ・趣味は持てている。 ・最近はあまりしていないが、時々ボランティアをするようにしている。機会があればまたしていきたい。 ・ボランティア行っていなかったので、行っていきたい。 ・趣味を通じてリフレッシュしている。	
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのＩＣＴ機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	2.9	2.8	2.9	・苦手なので、目で見てわかるマニュアルがあるとわかりやすくていいなと思います。 ・十分に活用出来るように行なっている。 ・苦手だが活用できるように頑張っている。わからないことは聞くようにしている。 ・タブレットでドキュメンテーションが作れるようになり、効率化が進んだ。 ・前向きに努めていきたい	
		52	51	51		

<こども園の教育・保育をより充実させていくための提言>　充実・改善事項、厳選・削除事項など御意見をお聞かせください。

・変化する社会に応じて、課題が多いかと思いますが、先生方の努力により、素晴らしい保育が継続できますようお祈り申し上げます。
・いつもありがとうございます。今以上に、園、先生、保護者、園児がたくさん接触できる（参観だけでなく、意見や要望が言える様子がわかる）環境になったらいいなと思います。ランド使用しない園児の保護者は、特に先生に会ったり、園に行く回数も少なくて様子がわからない、相談する機会も少ないので、愛育箱以外にもパステルなどでご意見お聞かせくださいのように意見を園側から募る（こっちからは言いにくいのが正直なところ）機会を増やしてもいいかもしれません。
・個人情報に対する対応やジェンダーの方々への配慮など、大変な事が多く、大変だと思いますが、これまでの園の運営、方向性は間違っていないと思います。頑張ってください。
・三仏忌等、法城学園こども園の特長を出しても良いのではないでしょうか。特色ある活動としてパンフレットにも記載されていますが、本評価の中にも関係する評価項目すらないのは残念です。
・